

## 沖縄県民のゼロカーボンアクション 30 に関する意識調査

### 1 本調査の目的

環境省が推進する脱炭素行動と暮らしのメリット「ゼロカーボンアクション 30」について、沖縄県民の認知度や意識を調べ、全国の調査結果（ゼロカーボンアクション 30 レポート 2021）と比較することで、沖縄県内でのゼロカーボンアクション 30 の推進に繋げることを目的に本調査を行った。

### 2 調査方法

- 調査対象 : 20 代～60 代の沖縄県民 (n=440)  
調査方法 : インターネット調査 (クロス・マーケティング)  
調査時期 : 令和 4 年 11 月  
データ解析 : 一般財団法人沖縄県公衆衛生協会

### 3 本調査の結果 概要 と 考察

#### (1) 全国の調査との比較

沖縄県と全国調査の結果、CO<sub>2</sub> 削減効果についてランキング別に集計した結果を表 1 に示す。沖縄県の結果、全国調査の結果はそれぞれゼロカーボンアクション 30 について、取り組みたいと回答された件数の多い順に並べたものである。CO<sub>2</sub> 削減効果はゼロカーボンアクション 30 レポート 2021 に記載された CO<sub>2</sub> 削減効果について大きなものから順に並べたものである。

調査結果から以下のことがわかる

- ・上位 3 つは、沖縄県では「節水」、「省エネ家電の購入」、「消費エネルギーの見える化」、全国調査では、「食事を残さない」、「節水」、「節電」となっている。
- ・全国調査と比較して、沖縄県では、「省エネ家電の購入」、「消費エネルギーの見える化」が上位にランクしている。また、全国調査と比較すると「再エネ電気への切り替え」、「働き方の工夫」、「分譲も賃貸も省エネ住宅を選択」の順位が相対的に高い。

#### (2) CO<sub>2</sub> 削減効果の大きなアクションの順位について

ゼロカーボンアクション 30 のうち CO<sub>2</sub> 削減効果の記載がある 11 の項目について、全国調査と沖縄県の調査結果から以下のことが言える。

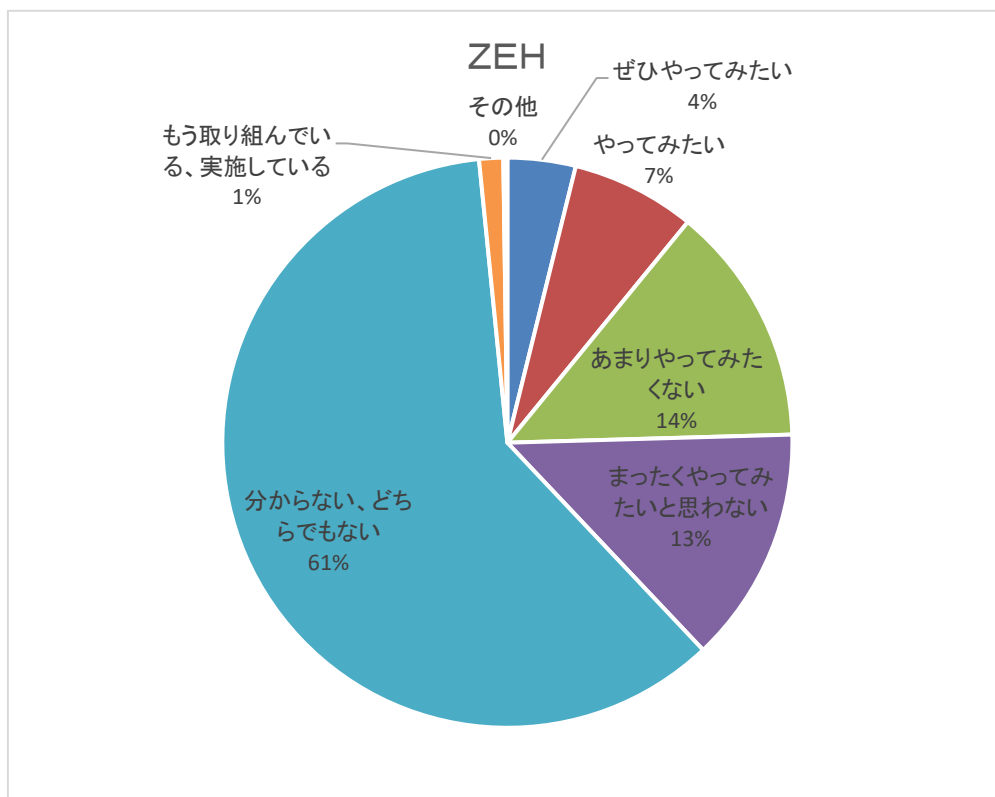
- ・沖縄県、全国調査ともに、CO<sub>2</sub> 削減効果の大きな ZEH が最も低い。
- ・「分譲も賃貸も省エネ物件を選択」については、全国調査が 27 位なのに対し、沖縄県では 18 位と相対的に高い。

表1 沖縄県と全国調査、CO2削減効果のランキング

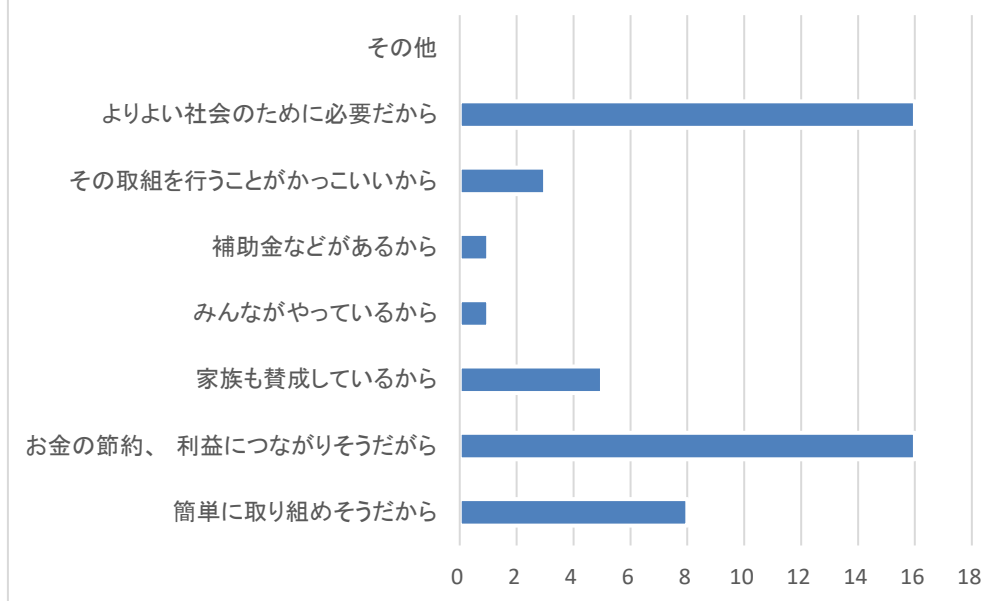
	沖縄県のランキング	全国調査のランキング	CO2削減効果ランキング
1	節水	食事を残さない	ZEH
2	省エネ家電の購入	節水	分譲も賃貸も省エネ物件を選択
3	消費エネルギーの見える化	節電	太陽光パネルの設置
4	旬の食材、地元の食材の取り入れ	ごみの分別処理	再エネ電気への切り替え
5	節電	今持っている服を長く着る	ゼロカーボンドライブ
6	食材の買い物や保存等での食品ロス削減	使い捨てプラスチックを減らす	節電
7	食事を残さない	食材の買い物や保存等での食品ロス削減	スマートムーブ
8	使い捨てプラスチックを減らす	長く着られる服を選ぶ	働き方の工夫
9	長く着られる服を選ぶ	省エネ家電の購入	今持っている服を長く着る
10	再エネ電気への切り替え	修理や補修をする	長く着られる服を選ぶ
11	働き方の工夫	クールビズ・ウォームビズ	修理や補修をする
12	修理や補修をする	旬の食材、地元の食材の取り入れ	
13	今持っている服を長く着る	宅配サービスを1回で受け取り	
14	宅配サービスを1回で受け取り	暮らしに木を取り入れる	
15	クールビズ・ウォームビズ	環境に配慮した服を選ぶ	
15	ごみの分別処理	フリマ・シェアリング	
17	環境に配慮した服を選ぶ	再エネ電気への切り替え	
18	分譲も賃貸も省エネ物件を選択	植林やごみ拾い等の活動	
19	省エネリフォーム(窓、断熱)	消費エネルギーの見える化	
20	植林やごみ拾い等の活動	省エネリフォーム(窓、断熱)	
21	暮らしに木を取り入れる	太陽光パネルの設置	
22	脱炭素型の製品・サービスの選択	働き方の工夫	
22	蓄電池・蓄エネ給湯器の導入・設置	自宅でコンポスト	
24	太陽光パネルの設置	脱炭素型の製品・サービスの選択	
24	自宅でコンポスト	蓄電池・蓄エネ給湯器の導入・設置	
26	フリマ・シェアリング	ゼロカーボンドライブ	
27	ゼロカーボンドライブ	スマートムーブ	
27	スマートムーブ	分譲も賃貸も省エネ物件を選択	
29	個人のESG投資	個人のESG投資	
30	ZEH	ZEH	

(3) CO2削減効果の大きな取組について、取り組みたい理由と取り組みたくない理由

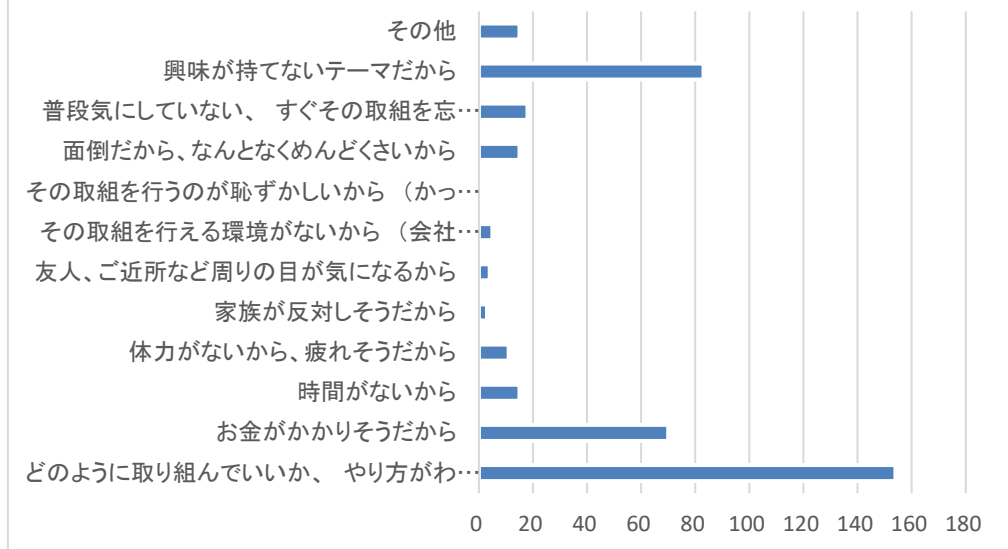
① ZEH



「ぜひやってみたい」/「やってみたい」とお答えいただいた取り組みについて、その理由を選び回答してください。/ZEH(MA)

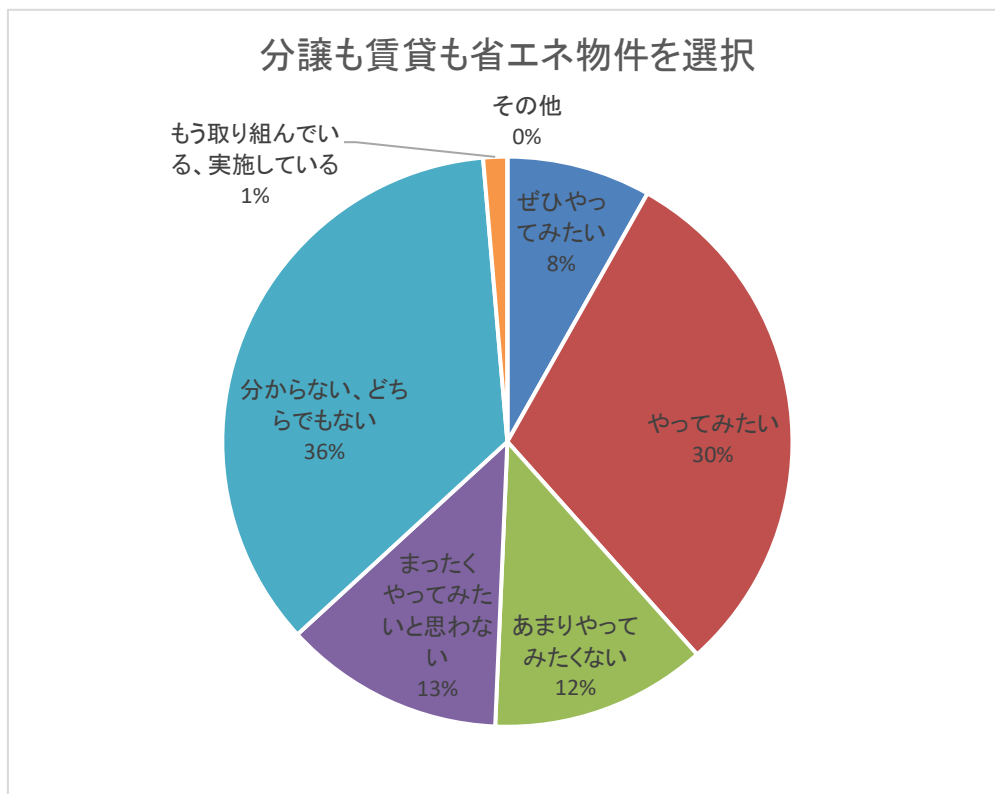


「あまりやってみたくない」／「まったくやってみたく  
 と思わない」／「分からない、どちらでもない」とお  
 答えいただいた取り組みについて、その理由を選  
 び回答してください。／ZEH(MA)

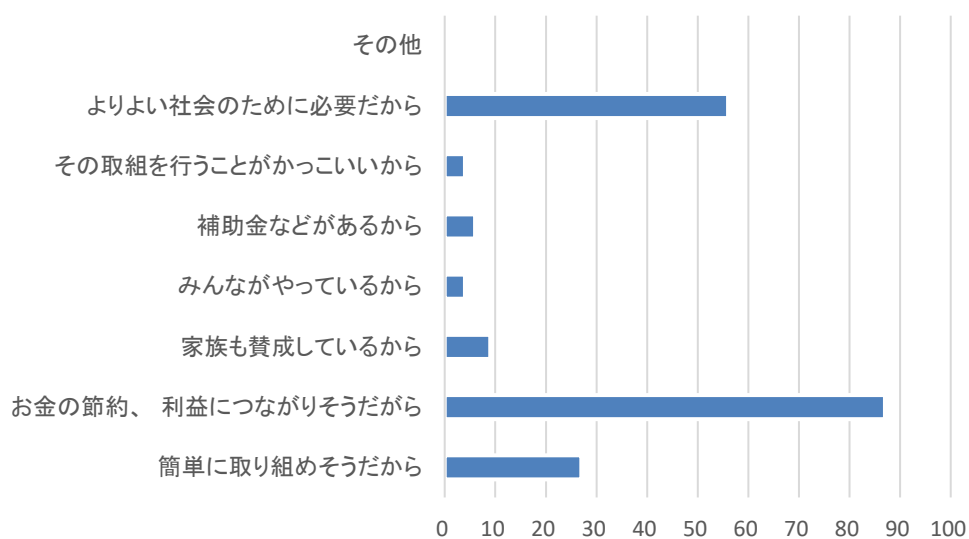


- ・ ZEH の取組については、「分からない、どちらでもない」が 61%と最も多く、取組の内容自体が理解されていないことがわかる。
- ・ 取り組みたい理由は、「よりよい社会のために必要だから」、「お金の節約、利益につながりそうだから」という回答が多い。
- ・ 取り組みたくない理由は、「どのように取り組んでいいか、やり方がわからない」が最も多い。

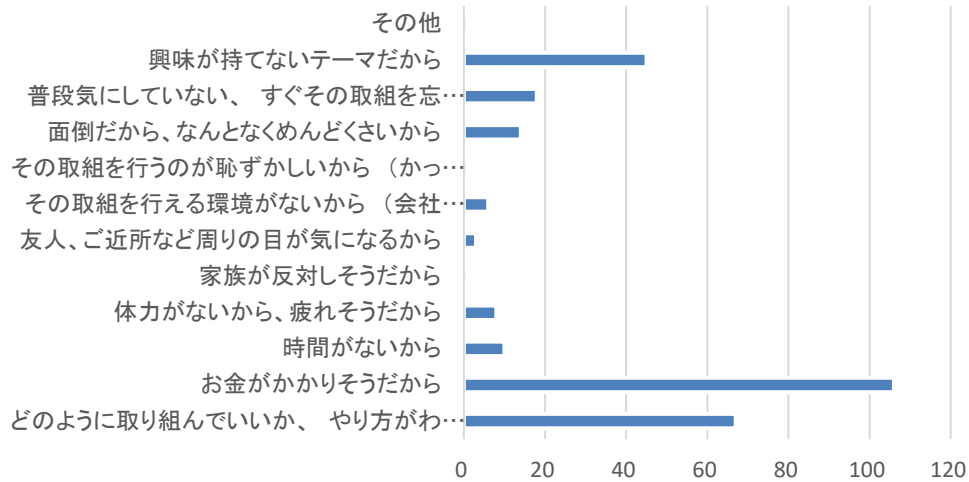
② 分譲も賃貸も省エネ物件を選択



「ぜひやってみたい」／「やってみたい」とお答えいただいた取り組みについて、その理由を選び回答してください。／分譲も賃貸も省エネ物件を選択 (MA)

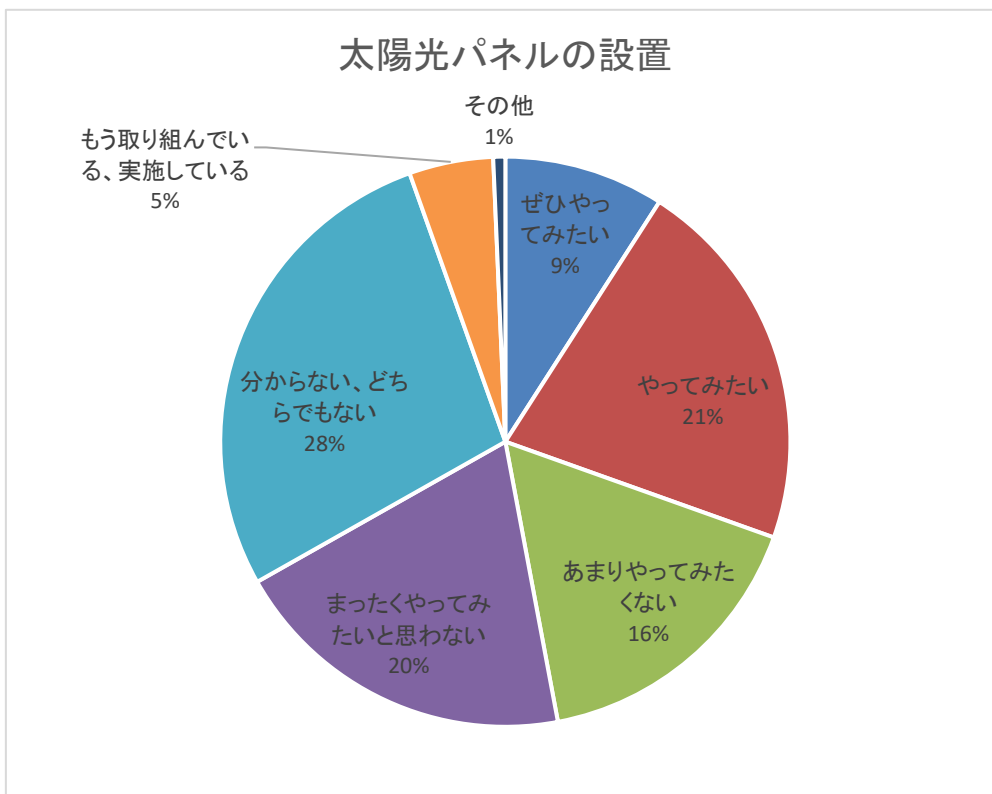


「あまりやってみたくない」／「まったくやってみたく  
 と思わない」／「分からない、どちらでもない」とお  
 答えいただいた取り組みについて、その理由を選  
 び回答してください。／分譲も賃貸も省エネ物件を  
 選択(MA)

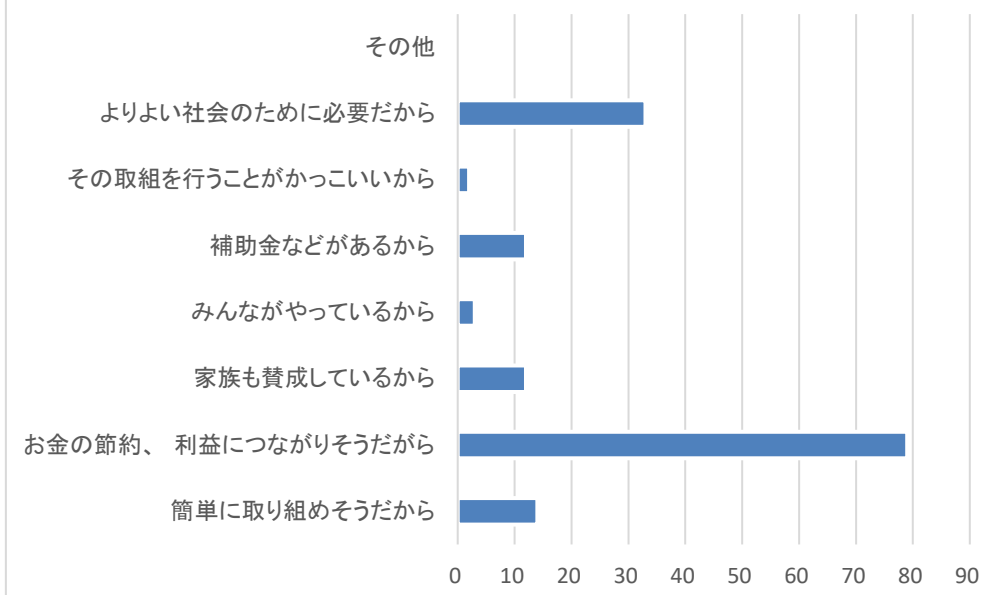


- ・分譲も賃貸も省エネ物件を選択の取組については、「ぜひやってみたい」(8%)、「やってみたい」(30%)であり、やってみたいと考える回答が多い。
- ・取り組みたい理由では「お金の節約、利益につながりそうだから」、「よりよい社会のために必要だから」という回答が多い。
- ・取り組みたくない理由では「お金がかかりそうだから」、「どのように取り組んでいいか、やり方がわからない」という回答が多い。

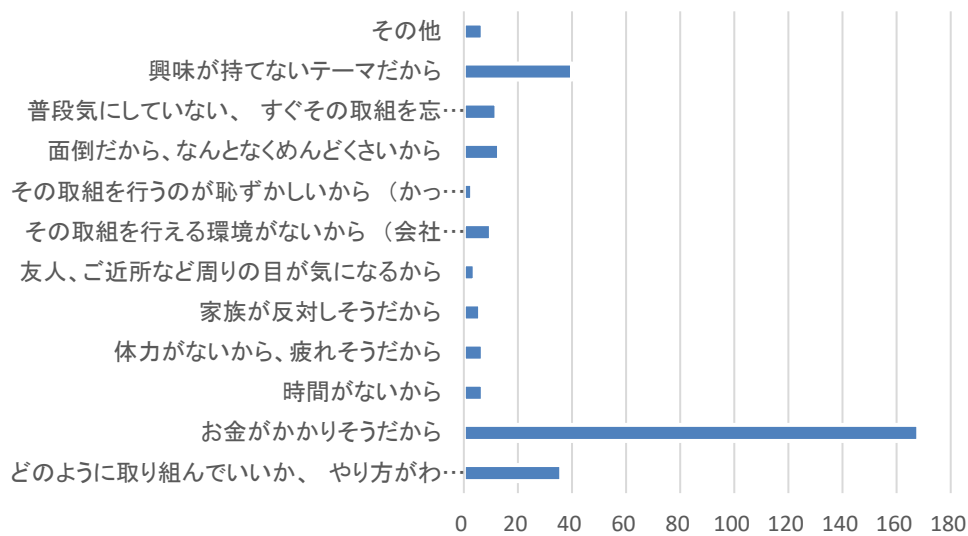
### ③ 太陽光パネルの設置



「ぜひやってみたい」／「やってみたい」とお答えいただいた取り組みについて、その理由を選び回答してください。／太陽光パネルの設置(MA)



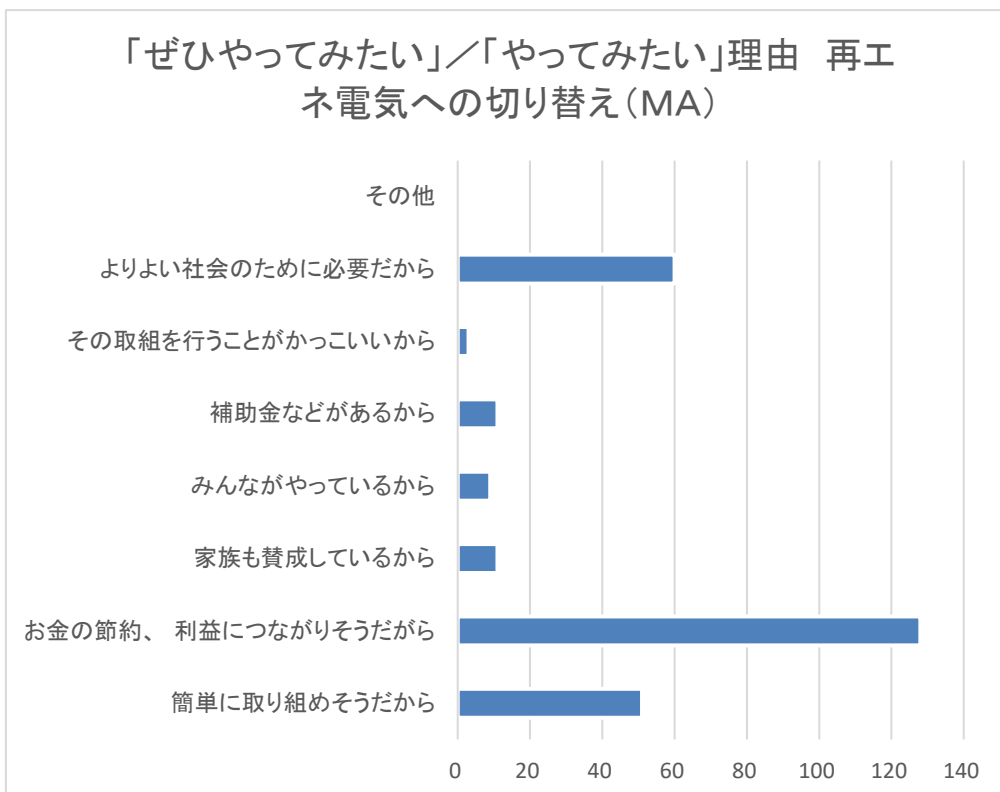
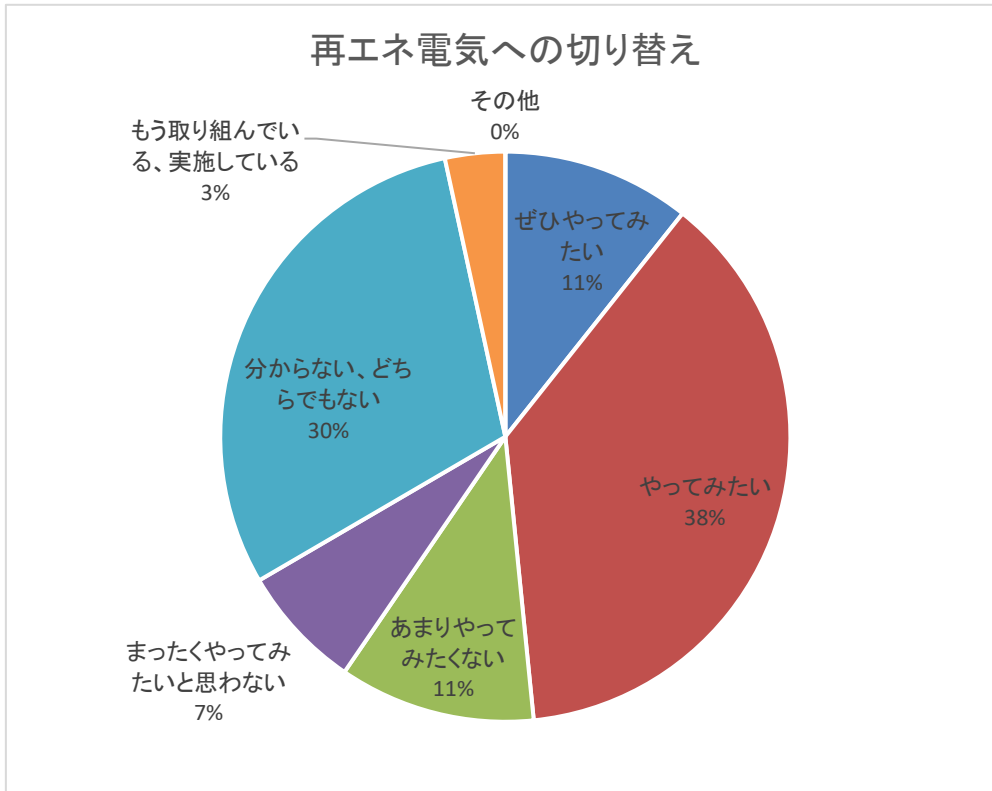
「あまりやってみたくない」／「まったくやってみたく  
 と思わない」／「分からない、どちらでもない」とお  
 答えいただいた取り組みについて、その理由を選  
 び回答してください。／太陽光パネルの設置(MA)



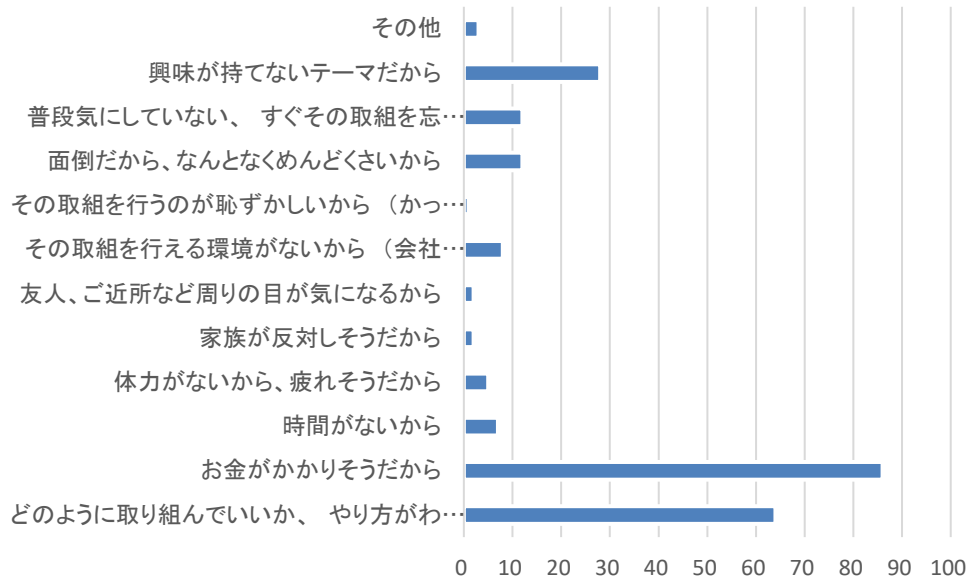
- ・太陽光パネルの設置の取組については、「ぜひやってみたい」(9%)、「やってみたい」(21%)  
 に対し、「あまりやってみたくない」(16%)、「まったくやってみたくはない」(20%)  
 と取り組みたくないとする回答が多い。
- ・取り組みたい理由では、「お金の節約、利益につながりそうだから」が多い。
- ・取り組みたくない理由では「お金がかかりそうだから」が多い。



#### ④ 再エネ電気への切り替え



「あまりやってみたくない」／「まったくやってみたく  
 と思わない」／「分からない、どちらでもない」理  
 由 再エネ電気への切り替え(MA)



- ・再エネの電気の切り替えの取組は、「ぜひやってみたい」(11%)、「やってみたい」(38%)と取り組みたいとする回答が多い。
- ・取り組みたい理由では、「お金の節約、利益につながりそうだから」、「よりよい社会のために必要だから」、「簡単に取り組みそうだから」という回答が多い。
- ・取り組みたくない理由では、「お金がかかりそうだから」、「どのように取り組んでいいか、やり方がわからない」という回答が多い。

(4) CO2削減効果の大きな取組の推進方法について

調査結果から沖縄県内でCO2削減効果の大きな取組を推進するため以下の方法が適切と考える。

① ZEH

- ・内容の理解を進める
- ・長期的にはコスト削減につながることを伝える
- ・イニシャルコストを下げる仕組みをつくる ローンの利率軽減など

② 分譲も賃貸も省エネ物件を選択

- ・長期的にはコスト削減につながることを伝える
- ・イニシャルコストを下げる仕組みをつくる ローンの利率軽減など
- ・建築主や大家も優遇される仕組みをつくる

③ 太陽光パネルの設置

- ・昨今のメガソーラーに関わる事件によるイメージの悪化、FIT制度（固定価格買取制度）の改変により、売電による利益が低下したことが、取り組みたいと考える人の減少に繋がっていると考えられる。
- ・太陽光発電は、技術として確立した再生可能エネルギーの一つであり、脱炭素社会を目指す上で必要な取組であること、売電価格が下がっても、自家消費分の電力により経済性もあることを伝える。

④ 再エネ電気への切り替え

- ・再エネ電気への切り替えを希望する方が多いため、県内で再生可能エネルギーを選べる仕組みを整えることが必要である。
- ・再エネへの切り替えで電気料金も上がらないケースが多いことも伝える必要がある。